



GALLERY

Tokyo

神の宮

伊勢神宮・出雲大社 奇跡の両遷宮

By yukihiro MASUURA

増浦行仁 写真展

2014.7.18 (Fri.) - 10.19 (Sun.) 11:00 - 19:00

ライカギャラリー東京 Leica Gallery Tokyo

月曜日定休 Closed on Mondays

入場無料 Admission free

平成25年日本の礎とも言える二つの神の宮が遷宮を迎えました。伊勢神宮の「第62回神宮式年遷宮」と、出雲大社の「平成の大遷宮」です。

過去1,300年に渡る遷宮の歴史上で、二十年に一度の伊勢の遷宮と、ほぼ六十年に一度とされる出雲の遷宮が重なったのは、ただ一度だけでした。

写真家の増浦行仁は、この時代に生きる自分の天命としてこれを捉え撮影に従事しました。

遷宮とは、神社の社殿を新しくする際にご神体を遷すことです。神々のお住まいを、美しく調えることで神威が蘇り、平和で豊かな世が続くとされています。

遷宮は、日本人がいにしえより伝えて来た生命の儀式であり、万物と共生し、人間が時間の流れを知る文化です。そこに、多くの人々が参加し、繰り返すことで、和を尊び、あらゆるものに感謝する日本の心を育み、優れた技術を継承してきました。

日本で1300年前から継承されてきた遷宮の精神。そこには、全人類が平和で豊かに暮らす叡智が含まれています。この先人からのメッセージを、地球に生きるひとりひとりに発見していただくために…。

増浦行仁は、この伊勢神宮と出雲大社の両遷宮を『神の宮』作品集として、国内外での巡回展を企画し、開催しています。

プロフィール

1963年生まれ。1981年渡仏。1983年VOGUE (Paris) ギィ・ブルダンのアシスタントとなる。1987年サロン・ドートンヌ入賞。ルーブル、オルセー、パリ近代美術館、ロダン美術館にてポスト印象派の彫刻を撮影。1988年フランス国立図書館に作品31点が永久保存される。2002年、フィレンツェのカーサ・ブオナローティ (ミケランジェロ美術館) を皮切りに、2003～4年東京都写真美術館他、国内各地にて『GENESIS』(ミケランジェロ作品集) 展開催。2006年より正式に許可を得、伊勢神宮「第62回式年遷宮」ならびに2008年より出雲大社「平成の大遷宮」の撮影をそれぞれ開始する。2013年5月に出雲大社、10月に伊勢神宮の正遷宮(神体の渡御)が行われるまで撮影に従事。これらの撮影作品は『神の宮』として国内外で巡回展を開始。同時に日本の精神文化、その自然観と伝承知による地球40億年の生命の継承を伝える「神の宮共働態」を結成。

写真集『GENESIS』『天狗の棲む山』、関連書『おれは土門拳になる～“奇跡の光”にたどり着いた写真家・増浦行仁の生き方～ (村尾国土/著)』